

「603」三本柱を全面的受け入れる方針 反動労働者全国大会批判

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

反動労働者全国大会批判 その4

動労「本部」第40回全国大会は、三ノ四日、運動方針に対する質疑応答が行われ、反動方針を弾劾する真面目な組合員の発言を圧殺し、「動労提言」によって「余剰人員解消策」三本柱に全面協力し、自民党、国鉄当局の尖兵となって動労千葉、国労破壊に全力をあげる反階級の方針を決定しました。

動労千葉の「国鉄―三里塚を基軸に反動中曾根と対決する労働運動」路線の正義性、優位性はますます鮮明であり、この路線のもと動労「本部」革マルを一掃し、国鉄労働運動解体攻撃に勝利しようではありませんか。

反動方針に相次ぐ批判

すでに何度も明らかにしてきたように動労「本部」方針は政府・自民党、臨調、監理委員会、当局の「分割・民営化」「三本柱」「合理化」「職場規律」等、国鉄労働運動を根底から破壊しようとする攻撃に対し、「国家意志としての労組破壊攻撃だから闘っても勝てないし闘うべきではない」としたうえで、「職場と仕事と生活を守るために国鉄を守らねばならず、そのために骨身を削って働こう」との「動労提言」をかかげ、自民党、当局と一体となった「再建フォーラム」経営参加に組合員を動員し、その一方で動労千葉、国労破壊をすすめるという、文字どおり反階級の方針なのです。

当然にも、多くの良心的代議員からこれを批判する発言が相次ぎました。

「三本柱」について、方針は絶対反対と書いていない。解雇攻撃には闘うというが、それまでの過程でどう闘うのか。「再建フォーラム」への参加は当局に権利を奪われ、最終的には解雇まで譲歩させられるのではないか。（秋田）

基地が廃止され、実際に職場と仕事が行われ賃金下がっている。「三本柱」に反撃すべきだ。（水戸）

「三本柱」が実施されることを前提とする方針は納得できない。（四国）

国労との共闘を広げるべきだ（天王子）

「60・3は正念場」というが、心構えがなさすぎる。乾坤一擲やるべき時がきている。職場と仕事と生活を守るのも、国鉄として残すのもいいが国労との共闘を大切にすべきだ。骨身を削るのも結構だが最後はどうなるのか。（米子）

「過員」、合理化に対して、職場と仕事と生活を守る闘いが有効な闘いではない。（仙台）

「三本柱は首切りではない」

―革マルは緒方が反動的なひらきなおり―

これに対し、「組織部長」革マル・緒方は実に反動的な答弁を行いました。

緒方は、「再建フォーラムは団交で解決できない問題もあり、こういう時期だから必要だ。労資協調という人もいるが気にすることはない」とひらき直り、「国労の入浴闘争を見れば明らかのように、権利を主張すれば首がしまつてしまう。国労が権利を主張して闘ったから動労にもふりかかった」などと、ストライキ、実力闘争を否定するファシスト本性丸出しの発言を行いました。

さらに「三本柱」については、「首切りだとは規定しない。クビ切りといってストライキを打つたらどうなるか。当局の術中にはまる」と答弁しました。

緒方は「三本柱にはストで闘う」といいながら「三本柱は首切りではないから闘わない」として「三本柱」を全面的に受け入れ、高令者の首切りを認めてしまっているのです。

「国労共闘」については、国労解体＝実力闘争否定路線をもって「三本柱で順法闘争をやるような国労とは共闘できない」と答弁したことはいうまでもありません。

最終日、受け入れられなかったとはいえ13地本5分科会の代議員の連名で「60・3」「三本柱」についての修正動議が出され、反動方針反対の意志表示が行われました。

以上、4号にわたって動労「本部」第40回全国大会を批判してきましたが、われわれは、来栖の「動労提言」の千葉へのもちこみ、動労千葉・国労に対する差別・敵対発言こそ、実は革マルの本音であることを見抜き、革マルと反動分子一掃、動労大改革を実現しようではありませんか。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！